

## 事例32 歴史と自然を生かした農村づくりをめざした集落協定

五戸町 浅水下通り

協定面積 田 8 ha 協定参加者 129人

- 当地域は、歴史の道百選に選定された「奥州街道」と清らかな浅水川に囲まれ、豊かな自然や歴史的資源（浅水城跡や寶福寺等）が点在する集落です。
- 協定農地は、集落から離れた山間地に存在しているため、周囲には既に耕作放棄地になりつつある農用地も多く、管理が容易でない状況にあります。  
また、後継者も少なく、現在の耕作者だけでは協定農用地の管理は困難と思われていました。
- 集落協定ではこの不安を解消するため、耕作放棄地が発生しそうになった場合には、農事組合を通じて代替耕作を行うことにしています。  
農事組合と連携を取ることで、協定参加者以外の農家も活動ができるわけです。
- 多面的機能増進活動は、集落を横切る奥州街道や国道沿い等に花を植え、農村景観づくりに取り組んでいます。
- また、古くから地域の神社として親しまれている浅間神社の老朽化が進んできているため、屋根の修繕や周辺の草刈りを行うなど、鎮守の森の再生をめざしています。



奥州街道の花壇整備